

2017 年度秋学期授業評価のまとめ

今年度前期の授業評価アンケート調査の結果概要を以下にまとめる。ほとんどの教員（講師・助教含む）から回答が得られ、参加率は高い。ただし、2名の教員からは実施しなかったとの報告があった。なお DICOM は大学院再編後であるが、開講された授業(1つのみ)の参加がえられた。概要を以下に記す。

	登録学生数 (研究生含)	回答者		設問 III-1-1 : 授業満足度					設問 III-1-3 : 授業達成度				
		数	%	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
研究科 共通科目	96	49	51%	0	1	3	20	25	0	0	4	17	28
DID	71	63	89%	0	2	8	22	31	0	2	10	20	32
DICOS	121	110	91%	1	0	7	40	62	1	0	5	38	66
DICOM	5	1	20%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	293	223	76%	1	3	18	82	119	1	2	19	75	127

※設問 III-1-1 は、問い「全般的に、授業内容は満足できるものでしたか」への回答分布。設問 III-1-3 は、問い「その授業目的が達成されたと思いますか」への回答分布。いずれも 5 が最も高く、1 が最も低い。

[総評]

1. 設問 III の満足度・達成度ともに、例年通り、平均して高い評価を受けている。
2. 学生からの要望・意見として、(1)基礎知識についてのサポートの要望、(2)講義、学生参加、その他授業方法についての要望、(3)学生はより積極的に取り組むべきとの声、(4)授業資料の改善についての要望、(5)その他（授業終了時刻の遵守など）などが挙げられた。
3. 教員からは、前回の授業と比べて、学生のプレゼンやディベート、グループ・ディスカッションなどを増やしたり、課題（レポートや文献など）の量を調整したり、映像資料や配布資料を活用したりといった工夫について、概ね好評であったとの報告があった。他方で、復習や自主学習を促すという工夫については、あまり効果が見られなかったと報告された。
4. その他、学生からのフィードバックを受けた上での教員の意見としては、(1)受講生の背景知識・基礎能力にバラツキがある、(2)積極性に欠ける学生がいる、(3)課題文献を読んでもこない学生がいる（授業によってはそのような学生が多い）、(4)事例紹介、事例研究、グループワーク、ディスカッション、模擬裁判を増やす、(5)その他（コメントを書いてくれる学生が少ない）といった点が報告された。
5. 2018年3月7日に実施されたファカルティ・ディベロップメント（教育の質向上のための教員ミーティング）では、率直なコメントが得られており有益である、アンケートの100%実施を求めたい、と行った意見が出された。

以上